

きらり★プロの目

私はこうして
電気事故を防いだ！



シュリンクバック現象にご注意を！！ 定期点検で事故を未然に防止！！

点 検 対 象	工場	点 検 地 区	斜里町
きらりポイント	<p>月次点検時に双眼鏡で柱上のケーブルを確認していたところ、端末部分の1相に不具合を確認しました。昇柱して直接目視点検を実施したところ、ケーブルのシュリンクバック現象が発生していました。</p>		

現場の状況と対策

シュリンクバック現象とはケーブルの外装が日光や周囲温度、通電中に発生する熱などにより収縮しようとする現象です。これにより固定されている端末部とケーブルが離れようとし、引き裂かれるような状況になります。

このまま放置・進行してしまうと、内部の遮蔽銅テープの破断や隙間からの雨水の侵入により地絡事故へ発展するおそれがあります。停電しての確認や対応が必要でしたので、お客さまにご説明し、後日停電点検を実施しました。各種測定・目視確認の結果、異常がなかったため、テープ巻き補修を実施いたしました。

▼改修前



▼改修後



技術者からのワンポイントアドバイス

この事例では、繁忙期でありながらも停電日程を調整していただくなど、お客さまのご理解とご協力により早期改修することができ、大変感謝しております。高圧設備の故障は、長時間停電や波及事故などの重大なトラブルに繋がる可能性があります。電気を使用する機器があふれている今、計画的な停電も容易ではありませんが、その先の事故を防ぐため、有事の際はご理解とご協力をお願いいたします。

斜里事業所
竹澤 由太